岡崎市北部地域交流センター　情報誌

なごみん

vol. 193
2021.11
岡崎市北部地域交流センター・なごみん

わが町の人物紹介　第125回

岩津の伝統芸能を伝えるまとめ役

▲ 近藤　孝義 さん
（東蔵前町｜68歳）

▲ 子ども太鼓「遊」の皆さん

▲岩津音頭保存会による踊り風景

【 告　知 】
11/27、28に岩津学区市民ホームで開催予定の秋祭りにて、岩津音頭と岩津小唄を披露します。

今月は、地元商工の活性化や伝統芸能の伝承に力を注ぐ近藤孝義さんをご紹介します。

（有）近藤孝商店を営む近藤さんは、大病を克服したことをきっかけに人の役に立ちたいと考え、精力的に地域活動に取り組むようになり、現在は岩津商工発展会の会長や岩津天満宮の総代を務めています。様々な活動の中で今回は、2つの活動に絞ってお話を伺いました。

①岩津の町「梅の里プロジェクト」

岩津商工発展会の協賛で住民に梅の苗木を配布する活動を行っています。これまでに250本程度の白い梅を配布しており、今後は赤い梅を配布するそうです。近藤さんは「岩津の町を紅白の梅でいっぱいにして、梅の名所『岩津』と知名度をアップしたい」とまちの将来像を楽しそうに話します。

②『岩津天神太鼓』や『岩津音頭・岩津小唄』の伝承活動

今年でチーム結成30周年を迎える『岩津天神太鼓（大人太鼓：凛、子ども太鼓：遊）』では、チームのまとめ役を担っています。練習を通して子どもたちに文化と技術を伝承し、市民に向けて和太鼓の魅力を発信する公演を年間10回ほど行っています。「コロナ禍の現在こそ、太鼓でみなさんを明るくしていきたい」と、アフターコロナを見据えて練習に励んでいます。

昭和5年に作られた『岩津小唄』や盆踊りで踊られている『岩津音頭』の保存と継承を目的として4年前に保存会を立ち上げました。現在は地元の小学校や中学校に赴き、子ども達に教えることで、将来の担い手育成と文化の伝承に取り組んでいます。「“楽しく・正しく・美しく”をモットーに活動の場を広げていきます。」と抱負を頼もしく語ってくれました。

11月の催し案内

◆まち育てスクール「変わりゆく岩津の町」

現存する歴史的景観や過去の名残りを見て回り、薄れゆく記憶を未来につなげるまち歩きを開催します。

日　時：令和3年11月13日（土）
　　9:00（なごみん集合）～12:00（解散）
内　容：岩津のまちをボランティアガイドと歩いて巡ります
定　員：20名（先着順）
申　込：11月12日（金）まで

▲昭和35年の岩津（岩津商工発展会資料より）

◆第2回つながるプロジェクト

8月20日に第1回「岡崎聾学校」と「地域」がつながるプロジェクトを実施し、中学部の生徒たちが聾学校の児童生徒の様子や学校の行事などを紹介してくれました。
第2回は高等部の生徒たちが聾学校の歴史を手話で紹介してくれます。また、市民活動団体「岩津松平氏輝きの600年」推進懇話会のメンバーが聾学校の生徒たちに岩津の歴史を紹介します。

日 時 ：令和3年11月26日（金）　15:00～16:00
場 所 ： なごみん3階 ホールB
定 員 ：15名（先着順）
申 込 ：11月23日（火）まで

※参加のお申し込みは、なごみん窓口・電話・FAXでお申込みください

▲ 第1回の様子

なごみんからのお知らせ

●作品展示

✿ 岡崎華道連盟

場　所：1階待合スペース
内　容：いけばな展示

✿ クラフトバンド作品展

場　所：1階ガラスケース
期　日：11月2日（火）～11月30日（火）
内　容：クラフトバンドで作成したバッグや小物などの展示

●最新の情報をチェック

新型コロナウイルスの動向により、活動室やプレイルーム、交流スペース等の運用を適宜見直します。なごみんのホームページで最新情報をご確認ください。

▼なごみんHPはコチラ

情報誌「なごみん」　＞＞＞地域の情報、まちづくりに関する情報をお寄せください。

編集・発行　：岡崎市北部地域交流センター・なごみん
所　在　地　：岡崎市西蔵前町字季平45番地1
電　　話　：0564-66-8251　FAX：0564-45-1521
メ　ー　ル　：nagomin@m3.catvmics.ne.jp

開館時間：9:00～21:00
休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）、12/29～1/3
発行責任者：（指定管理者）特定非営利活動法人 岡崎まち育てセンター・いた